

## 令和2年9月定例県議会の概要について

概 要

「一般質問」での教育委員会関係の主な質疑応答

**大久保 潔重 議員**

◇コロナ禍と「地方創生」について 一ひとをどう創るか？—

1人1台端末を整備することに伴い、デジタル教材の活用についてどのように対応していくのか伺いたい。

(教育長答弁)

議員ご指摘のとおり、教育のICT化に伴う児童生徒の資質・能力を育成するためには、デジタル教材を活用することが今後重要になってくると考えております。

小・中学校におきましては、すぐに実践できることとして、新学習指導要領に基づいた教科書の活用があります。新しい教科書には、随所にQRコードが付けられておりまして、児童生徒が各自の端末で読み取ることで、図形を立体的に捉えたり、実験方法を動画で確認したりしながら、理解を深めることができるようになっております。

また、県教育委員会では、英単語や英会話をweb上で学ぶことができるデジタル教材等を整備しておりまして、これらが一層活用されるよう働きかけてまいりたいと考えております。

一方、高校におきましては、学習内容や生徒の実情等が学科によって異なるため、実態に応じた民間のデジタル教材の活用を考えています。生徒一人一人の学習を支援するものや授業で活用できるものなど様々なタイプのデジタル教材がありますので、どのような教材を活用することが有効であるのかなど、まずは実証研究を進めていかなければならないと考えております。